

電気を正しく使って 快適ライフ

保存版

電 気 安 全 パ ン フ レ ッ ト

- 電気器具は正しく使いましょう。
- 電気工事は工事店に依頼しましょう。
- 電気の安全装置が電気事故を防ぎます。
- 地震対策は万全ですか？身の回りの電気安全。
- 点検してみましょう、ご家庭の電気安全。
- 電気をムダなく上手に使いましょう。
- 不安全な箇所は早めに直しましょう。

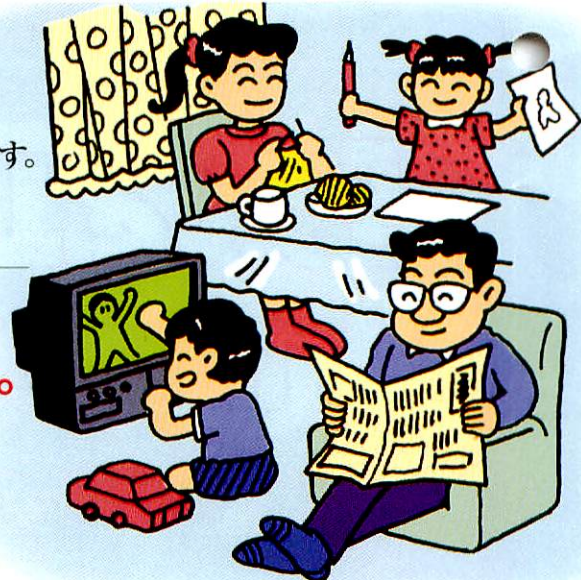


東京電力株式会社



財団法人 関東電気保安協会

電気は私たちの日常生活に欠かすことのできない便利なエネルギーです。しかし、どんなに便利な電気でも使い方を誤ったり、故障したままで使用しますと、思わぬ事故や災害につながる可能性があります。このパンフレットは、「正しい電気知識」で、電気を安全にお使いいただけるよう作成したものです。

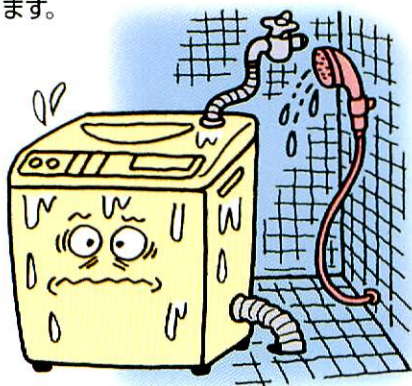


1. 電気器具は正しく使いましょう。

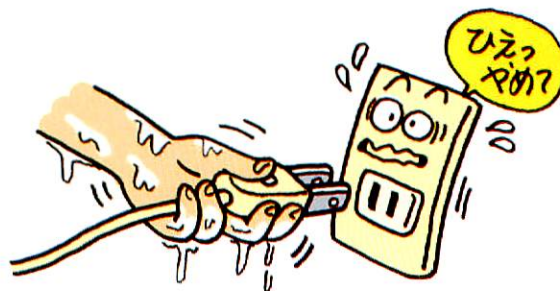
電気器具には、「取扱説明書」が付いています。よく読んで電気器具を使いましょう。また、次のようなことにも注意しましょう。

① 電気器具は水や湿気がにがてです。

屋内用の器具を屋外や、水気のある場所で使わないようにしましょう。器具が故障しやすくなり、漏電の原因にもなります。



② めれた手で電気器具を扱うのはやめましょう。感電しやすく危険です。



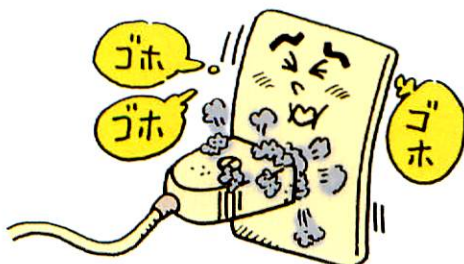
③ コードやプラグはていねいに扱きましょう。

コードがいたんだり、プラグの“刃”が曲がり、断線や過熱の原因となります。



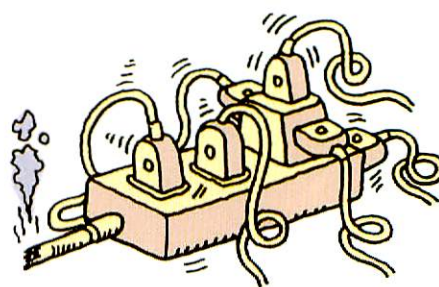
⑤ コンセントやプラグはときどき点検しましょう。

プラグは差し込んだままにしますと、チリやホコリがたまってしまいます。そこに湿気が加わると漏電や火災の原因となることがありますので、ときどき乾燥した布などできれいにしましょう。



④ タコ足配線はやめましょう。

コードやコンセントは、使用できる電気の量に制限があります。これをこえて使用しますとコードが過熱して火災の原因となることがあり危険です。



ワンポイントアドバイス

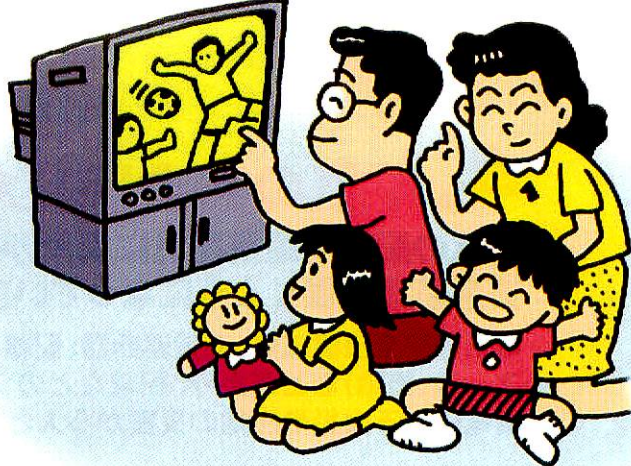
家具のうしろのプラグや、冷蔵庫、洗濯機などのプラグは、常時差し込んであるため、チリやホコリがたまりやすくなっています。ときどき点検してみましょう。

ミニ知識

ご家庭の壁などに取り付けられているコンセントで、使用できる電気の量は1,500ワットまでです。

2. 電気工事は、 工事店に依頼しましょう。

電気の配線工事は、専門知識と技術をもった「電気工事士」の資格が必要です。
(ただし、ヒューズの交換やコードコネクタへのコードの接続などは、資格がない人でもできます。)



① エアコン等の 大型電気器具については、 専用の回路から使いましょう。

大型電気器具の購入にあたっては、あらかじめ、電気工事が
必要かどうか販売店などに確認しましょう。



② コードを固定して 使用することはできません。

コードはいたみやすく、「くぎ」や「ステーブル」などで固定したり、タンスなどの下敷きにしますと、断線や過熱の原因となり危険です。

3. 漏電遮断器とアースが漏電・感電事故を防ぐ基本です。

次のような電気器具には、漏電遮断器とアースを取り付けましょう。

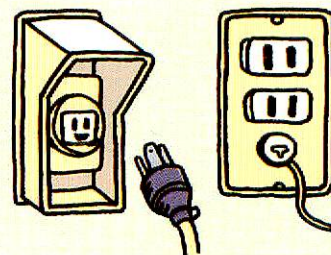
●「洗濯機、衣類乾燥機、食器乾燥機、電気温水器」など、水を使用する電気器具や、水気のある場所で使用する電気器具

●「エアコンの室外機、井戸ポンプ、池水循環ポンプ、庭園灯、自動販売機」など、屋外で使用する電気器具



ワンポイントアドバイス

洗濯機を使用するコンセントや台所のコンセントには、アース線が接続された「接地極付きコンセント」や「接地端子付きコンセント」が便利です。



接地極付きコンセント 接地端子付きコンセント

4. 電気の安全装置が電気事故を防ぎます。

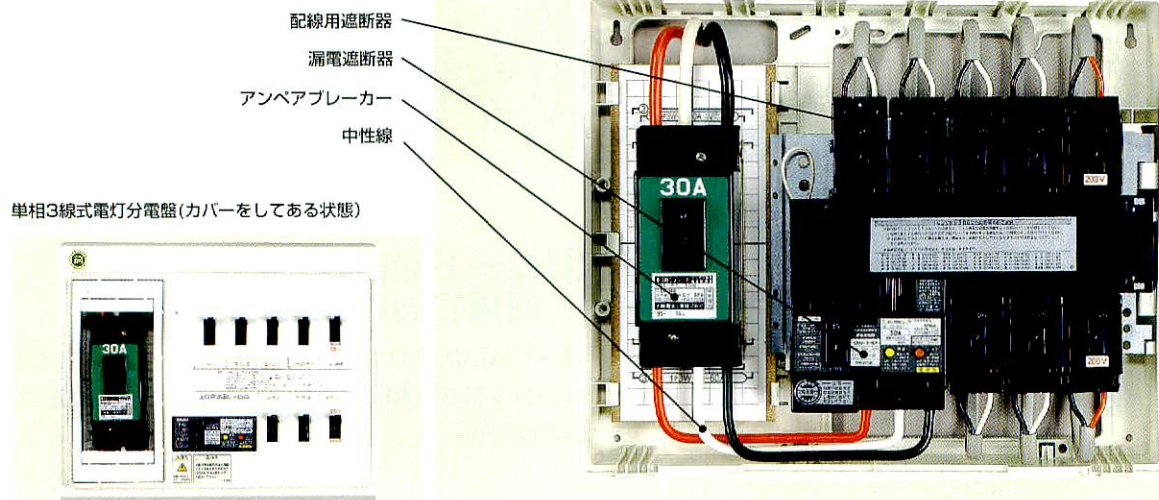
電気の配線や電気器具に異常が発生したときには、安全装置が働くようになっています。

電気の安全装置には、漏電遮断器、配線用遮断器（安全ブレーカー）、安全器、アース（接地）などがあり、配線などのショート（短絡）や漏電による火災や感電の災害から人と設備・財産を守ります。

① 分電盤

分電盤には、アンペアブレーカー、漏電遮断器及び配線用遮断器（又は安全器）等が取り付けられており、照明や電気器具につながる配線に分けられています。

●単相3線式電灯分電盤の一例



② 漏電遮断器

漏電遮断器は、屋内配線や電気器具などに漏電が発生したときに、自動的に電気を切って漏電による火災や感電事故を未然に防ぐ安全装置です。

ご家庭で漏電が比較的に多く発生しやすいものとしては、ポンプや洗濯機など水を使用する器具やエアコンの室外機など

雨が直接かかる箇所に設置されている器具です。

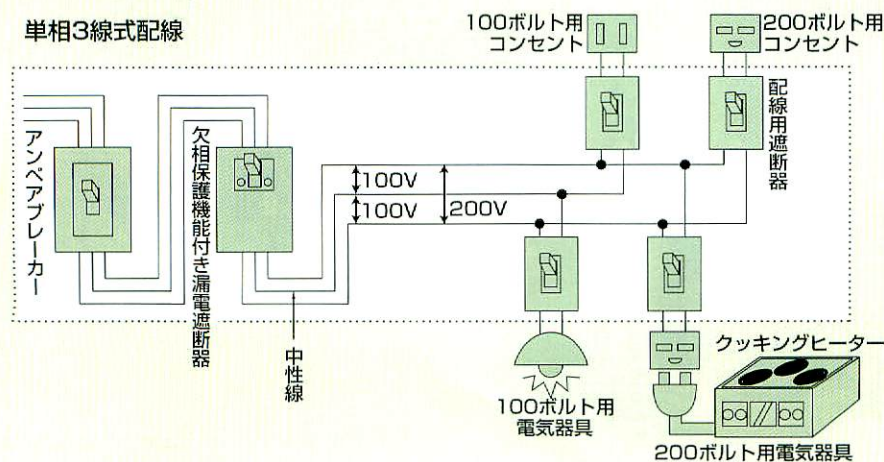
水気のある場所で使用する器具や屋外で使用する器具がある場合は、漏電遮断器を取り付けて電気を安全に使用しましょう。

（漏電遮断器は、定期的にテストボタンを押して動作するかどうか確認しましょう。）

単相3線式配線には、「^{けっそう}中性線欠相保護機能付き漏電遮断器」がおすすめ！

単相3線式配線では、中性線（接地してある線）の接触が悪くなると電圧が不安定となり、電気器具に高い電圧が加わり故障することもあります。

これを防ぐためには、中性線欠相保護機能付きの漏電遮断器が有効です。



●単相3線式配線とは写真（または左図）のような電灯配線で3本（赤・白・黒）の配線で電気が供給され、電灯やテレビのほかに、単相200Vの電気器具が使えるようになっている配線のものです。

③ 配線用遮断器・安全器

配線用遮断器・安全器は、電気を使い過ぎていたときや配線・コードがショートしたときに、素早く電気を止めて事故の拡大を防ぐ安全装置です。

現在では、ほとんど20アンペアの配線用遮断器が使われていますが、一部にはヒューズを使用した安全器が使われています。

安全器に針金や過大なヒューズを使用すると電気の使い過ぎによる事故を防止することができませんので危険です。必ず15アンペアの爪付きヒューズを使いましょう。

ヒューズの交換が不要で、安全便利な配線用遮断器への取り替えをおすすめします。

④ アース(接地)

アースは、配線や器具などが万が一漏電したときに、漏れた電流を地中に逃がし、感電の危険を少なくするものです。

アースは、電線を接続した銅板(棒)等を地中深く埋め込む必

要があります。工事には、電気工事士の資格が必要ですので、電気工事店に依頼しましょう。

●次のような電気器具にはアースの取り付けが必要です。

- イ 洗濯機や電気温水器等の水気・湿気の多い場所で使用する電気器具
- ロ 井戸ポンプや自動販売機等の屋外で使用する電気器具
- ハ 商店や工場にあるエアコン、工作機械、溶接機等の200ボルトで使用する電気器具

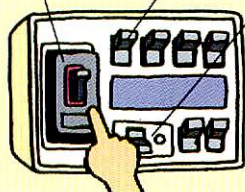
分電盤の一例です

ミニ知識

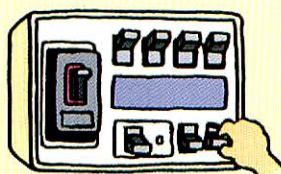
漏電遮断器が切れてしまったら(動作したら)

突然電気が消えて漏電遮断器のつまみが切れているのを確認したら、まず、電気設備の安全を確かめてから次の手順で復旧してみましょう。

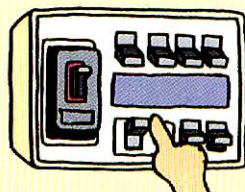
アンペアブレーカー 配線用遮断器 漏電遮断器



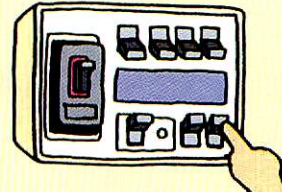
1. アンペアブレーカーのつまみが「入」になっている事を確認する。



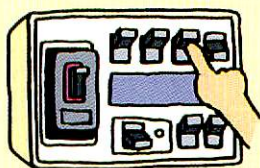
2. 配線用遮断器のつまみを全部「切」にする。



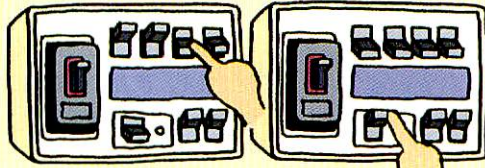
3. 漏電遮断器のつまみを「入」にする。



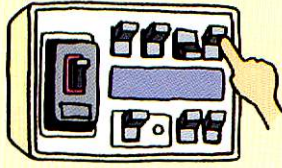
4. 配線用遮断器のつまみをひとつずつ「入」にする。



5. もし配線用遮断器を入れた時に再び漏電遮断器が切れたらその回路に漏電がある。



6. 悪い回路(漏電)の配線用遮断器を「切」にし、再び漏電遮断器のつまみを入れる。



7. 悪い回路以外の配線用遮断器を入れる。

悪い回路(漏電)は、早めに電気工事店に点検を依頼して下さい。

なお、ご自分での復旧処理が不安な場合や、再び電気が切れた場合は、お近くの東京電力までご連絡下さい。

5. 地震対策は万全ですか？ 身の回りの電気安全！

いつ起きるか分からない地震。
そんな地震に備えて準備は万全ですか？
グラツときたら「身の安全の確保」「火の始末」、
「脱出路の確保」が大切です。
でも「電気安全」も忘れずにチェックしてみましょう。



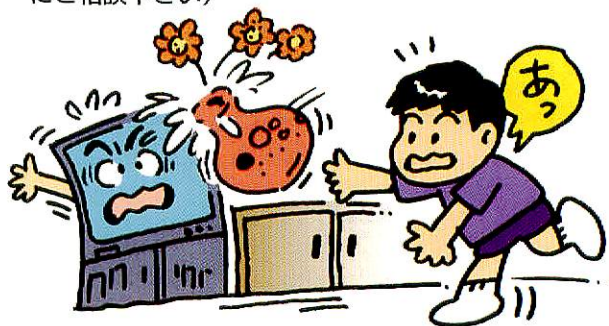
① 避難するときは ブレーカーを切りましょう！

万が一に備えて分電盤の位置を確認しておきましょう。
また、ブレーカーを切るときの妨げになりますので、
分電盤の付近には物を置かないようにしましょう。



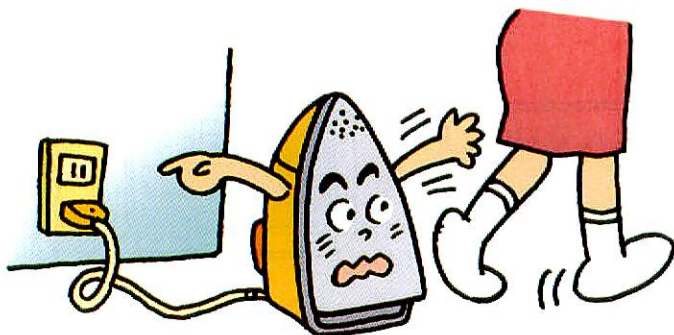
② 電気器具は水がにがてです！

水がこぼれて電気器具にかかると漏電や火災などの原因になることがあります。テレビなどのそばに、水槽や花瓶は置かないようにしましょう。
また、水に浸かった電気器具は、使わないようにしましょう。(なお、水に浸かった場合は、販売店などにご相談下さい)



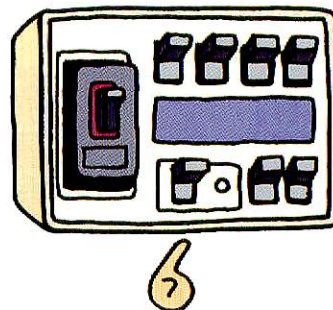
③ プラグは抜いて下さい！

避難するときは、アイロンやドライヤー等の電気器具の
プラグをコンセントから抜きましょう。



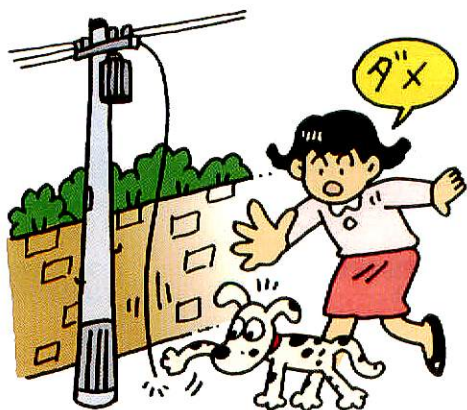
④ 漏電遮断器を取り付けましょう！

地震などで漏電が発生した場合、自動的に電気が切れるので安心です。ぜひ、取り付けられることをおすすめします。



⑤ 切れた電線には絶対に 触らないようにしましょう！

切れて垂れ下がった電線には、絶対に触らないでください。また、電線に樹木や看板、アンテナなどが接触している場合でも、とても危険です。
見つけたときは、すぐに東京電力へご連絡ください。



6. 点検してみましょう。 ご家庭の電気安全。

定期的に点検してみましょう。

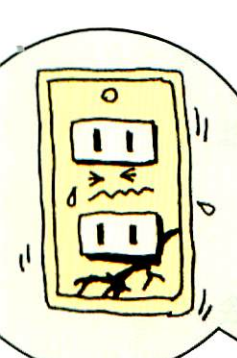
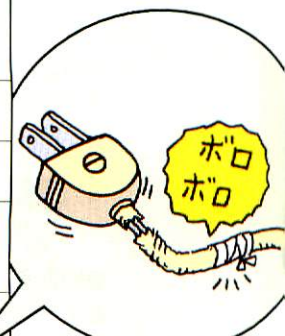
電気を安全に使用するためには、電気器具を正しく取り扱い、日頃からの点検と整備が大切です。

 は、安全な使い方です。

 は、不安全な使い方です。改善が必要です。『パンフレットの参照箇所など』の欄をご覧ください。



分 電 盤			パンフレットの参照箇所など
●ブレーカー（ヒューズ）や漏電遮断器が切れたことはありませんか。	ない	ある	4②、及び4③をご参照下さい
●分電盤で音や異臭がしたことはありませんか。	ない	ある	分電盤内の不具合が考えられますので、お近くの東京電力にご相談下さい ●8ページをご参照下さい
●分電盤の周りに、物が積まれていませんか。	いない	いる	5①をご参照下さい
配 線			
●コードを固定して使っているところはありませんか。	ない	ある	2②をご参照下さい
●タコ足配線をしていませんか。	いない	いる	1④をご参照下さい
●コードがキズついたり、ネジれたりしているところはありませんか。	ない	ある	キズや、ネジレが著しい場合は、交換して下さい 1③をご参照下さい
器 具			
●浴室や屋外で洗濯機などを使用していませんか。	いない	いる	1①、及び3をご参照下さい
●コンセントやプラグに、チリやホコリが溜まっていますか。	いない	いる	1⑤をご参照下さい
●コンセントやプラグにさわって熱くなっているものはありますか。	ない	ある	1③、及び1④ををご参照下さい ●8ページをご参照下さい
●コンセント、スイッチなどに破損しているものはありますか。	ない	ある	感電や、過熱の原因となりますので、工事店などにご相談下さい ●8ページをご参照下さい
●テレビなどのそばに水槽や花瓶などが置かれていませんか。	いない	いる	5②をご参照下さい
屋 外 ・ 屋 内			
●電気のメーター（電力量計）付近の電線が垂れ下がっていたり、屋外の電線が垂れ下がっていませんか。	いない	いる	お近くの東京電力へ、ご連絡下さい ●8ページをご参照下さい
●屋外の電気器具が破損したり、雨水が器具内に入ったりしていませんか。	いない	いる	感電や、漏電の原因となりますので、販売店などにご相談下さい ●8ページをご参照下さい



7. 大切なエネルギー、 電気をムダなく上手に使いましょう!

身につけてみませんか? 「電気をムダなく上手に使うコツ」
電気器具はこんな使い方に、心掛けましょう。

① エアコンの“設定温度”はひかえめに

冷やしすぎ、暖めすぎは電気がムダになるだけではなく、体にもよくありません。設定温度はひかえめにしましょう。
また、窓にカーテンやブラインドを取り付けることで冷暖房の効率がグーンとアップします。

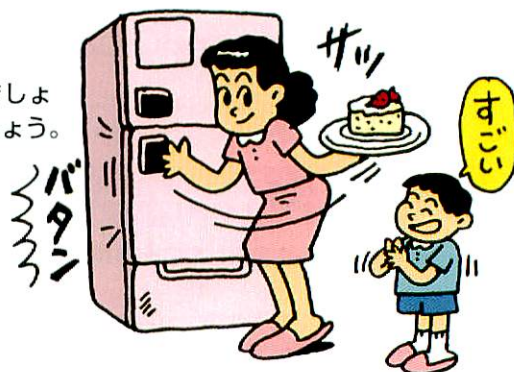


② 照明やテレビの“つけっぱなし”には気をつけて

使っていない部屋の照明や時計がわりのテレビのつけっぱなしは、とてもムダな使い方です。また、就寝前やお出かけ前には、テレビなどは、本体の電源を切りましょう。

③ 冷蔵庫の開け閉めはなるべく少なく “スピーディー”に

冷蔵庫は換気のよい場所に置き、食品を詰め込みすぎないようにしましょう。また、冷気が逃げないようにドアの開閉はスピーディーに行いましょう。



④ 電気器具は日頃から“こまめな手入れ”に 心掛けましょう。

- 照明器具は、カサと電球のお掃除で、明るさアップ
- エアコンは、定期的にフィルターのお掃除を
- 掃除機は、フィルターのゴミ捨てをお早めに

電気についてのご相談はお気軽にどうぞ

*ご相談はすべて無料です。

電気のことでご心配のときやお困りのときは、ご連絡ください。			東京電力株式会社
千葉支店柏営業所	0471-64-3311	柏市新柏1-13-2	
おまかせください電気の安全調査			財団法人 関東電気保安協会
千葉事業本部 千葉事業所	047-444-6781	鎌ヶ谷市右京塚10-12	

不安全な箇所は早めに直しましょう

電気を安全に使用するには、電気器具を正しく取り扱い、日頃の点検とこまめな手入れが必要です。

コンセントなどの配線器具の破損や過熱箇所などの不安全箇所を発見したら、早めに電気工事店に依頼し、修理をしましょう。

なお、工事の依頼先や修理の方法などでお困りの場合は、上記の東京電力または関東電気保安協会へご相談ください。

(工事費はお客さまの負担です。)

お知り合いの電気工事店がないときは、ご利用ください。

屋内配線の改修や小規模な電気工事は			住宅電気工事センター
柏	0471-64-1153	柏市柏5-7-24	

住宅電気工事センターは、お客さまに電気を安全・便利にお使いいただくために全関東電気工事協会(電気工事組合)、東京電力、関東電気保安協会の協力により設立されたものです。